

# 神社のような公園

## 1. はじめに

私が子供の頃は、公園だけでなく神社の境内など様々な場所で、鬼ごっこ・隠れんぼ・缶蹴りなどをして遊んでいた。しかし、最近では子供たちの遊び方が変わり、外でDSなどのゲームなど室内の遊びを外でしているのを目にすることがある。

また、子供たちの身近なところで犯罪が起き、安全性や治安の問題により公園内の遊具や遊ぶ場所も少なくなり、子供が遊ぶ場所であるべき「公園」で遊ぶことが規制されることもあるため、なかなか外で遊ぶ機会が少なくなっている様に感じている。

そこで、子供たちが安心・安全に「本来の遊びができるような公園」が必要だと考える。

## 2. 問題

### ① 安全性

遊具を使って遊んでいて怪我をした時に、本来自己責任である怪我の管理責任が公園施設の管理者に問われ、遊具を撤去せざるを得ない状況になってしまう。

また、子供だけで遊ぶとき、子供たちの中での縦社会がなく、上級生から教わることもなくなっているため、遊具本来の遊び方とは違った遊び方をして怪我を招くこともある。

### ② 遊び方

子供たちの外での遊び方が変化し、公園でもDSなどのゲームやスマホアプリなど室内での延長線上で遊ぶなど、本来外でする遊びとは言い難い公園の使い方をしている者もいる。しかし、遊具だけでなく周辺家屋へのボールの飛散や道路への飛び出しによるボール遊び禁止など、公園でできる遊びも制限されているのが現状である。

### ③ 治安

治安の悪い場所や、犯罪などが起こることによって子供たちだけで遊ぶのは危険となり、なかなか外で自由に遊ぶことができなくなっている。子供たちだけで遊ばせるのは心配だが、共働きの親も多く大人が常に見守ることはなかなかできない。

## 3. 解決方法

① 子供たちが安心して安全に遊べるように、近隣のお年寄りに協力してもらい見守ってもらう。「見守り隊」のような既に地域にある団体に協力してもらう。

② 公園や神社でしていたような昔からある遊びを教えてもらうことで外で本来の遊

び方を学ぶ。

- ③ お年寄りが見守ることにより、子供が普段なかなか関わることのない大人やお年寄りとのコミュニケーションをとることで安心して遊べる環境ができる。また、地域のコミュニティ活性化にも繋がる。

#### 4. 提案内容

フィールド：公民館の隣に公園があるような場所、または公園の横にお年寄りの方や大人が集まれるような施設がある場所。

画像1の西町公園内には老人いこいの家（写真内左の建物）があり、今回の提案に最適な場所だと考える。



画像1 西町公園（Googleより）

##### 「安心・安全に遊べる場」

子供たちとお年寄りの方々が交流するイベントの開催、または日常的に近隣のお年寄りや大人が見守るようにすることで子供たちが安心して安全に遊べる場を作る。その際に、「見守り隊」のような地元の既存の団体に協力を求めることで定期的に開催出来るようにし、しっかり大人の目が行き届くようにすることで事前に危険を回避することができる。

##### 「遊び方の伝承」

お年寄りの方から昔から神社や公園で遊んでいた色々な遊びを教えて頂き、野外での本来の遊び方やルールを学ぶ。また、公園に集まってもDSのようなゲームをして遊んでいる子供たちに、体を動かして遊ぶことの楽しさを知ってもらう。

##### 「コミュニケーションの場」

定年退職後のお年寄りの方や子供たちにコミュニケーションの場を提供し、普段なかなか関わることのない人と交流をすることで地域の活性化を図る。また子供たちと地域の結びつきを強化することで安全な街づくりへ繋がる。そして、子供たち同士やお年寄りの方同士も交流出来るためさらなるコミュニティの活性化が見込める。

#### 5. おわりに

子供の頃に、神社の境内で遊ぶ私たちが神主さんが見守ってくれていたような地域との繋がりを作ることで、今の子供たちや、さらには次の世代の子供たちに対して、安心して遊べる公園が定着してくれることを願う。